

主 催

関西英語教育学会 (KELES)

共 催

大学英語教育学会 (JACET) 関西支部・外国語教育メディア学会 (LET) 関西支部

## 第 25 回卒論・修論研究発表セミナー

### プログラム

2022 (令和 4 年) 年 2 月 11 日 (金・祝)

会場: オンライン会議ツール Zoom

関西英語教育学会 HP: <http://www.keles.jp/>

○ 会場オープン 9:15

○ 開催方式 オンライン

(事前参加登録は4ページをご覧ください。事前参加登録いただいた方に Zoom の  
アドレスをお知らせします)

○ 参加費 会員・非会員とも無料

○ 開会行事 9:35-9:50 (Zoom 1)

司 会: 今野 勝幸 (龍谷大学)

開会の挨拶: 橋本 健一 (大阪教育大学)

○ 午前の部 10:00-11:50 (プログラムは 2 ページをご覧ください)

○ ランチョン・セミナー 12:00-13:00

○ 午後の部 13:10-14:45 (プログラムは 3 ページをご覧ください)

スペシャル・トーク 14:55 -16:25 (Zoom 1)

**「日本の英語教育—金魚鉢から大海の道」**

講師: 吉田 研作 先生 (上智大学 名誉教授)

講師紹介: 泉 恵美子 (関西学院大学)

○ 閉会行事 16:25-16:35 (Zoom 1)

閉会の挨拶: 平野 亜也子 (京都産業大学)

午前の部 ①10:00 -10:30 ②10:40 -11:10 ③11:20 -11:50

\*発表タイトル前の B は卒業論文、M は修士論文の発表です。

【Zoom 1】 コメンテーター：杉森 直樹(立命館大学)・中田 賀之(同志社大学)

司会：俣野 知里(京都教育大付属桃山小学校)

- ① M: 日本の英語教育における TBLT に基づくタスク活動と PPP 型の授業を融合させた「PPT 型の授業」の提案  
-「Task」活動をどのように結びつけるか- 門田 萌 (関西外国語大学)
- ② M: 意図的イディオム学習 -monolingual flashcard と bilingual flashcard の比較- 有馬 海登 (京都教育大学)
- ③ M: Enhancing Students' Motivation through Extensive Reading and Self-Regulated Learning: From a Self-Determination Theory Perspective 今井 葉月 (京都教育大学)

【Zoom 2】 コメンテーター：児玉 一宏(京都教育大学)・大和 知史(神戸大学)

司会：斉藤 倫子(滋賀県立大学)

- ① M: 英語受動態の発達と偏流  
-認知言語学的観点からの考察- 山原 太樹 (奈良教育大学)
- ② M: 推測を表す動詞 seem, look の証拠性について  
-日本語の助動詞ヨウダ、ソウダとの比較の観点から- 五十嵐 陽 (横浜国立大学)
- ③ M: 様々な英語訛りを導入した英語リスニングテスト  
-日本人英語学習者を対象として- 鈴木 隆一 (関西大学)

【Zoom 3】 コメンテーター：西本 有逸(京都教育大学) 発表は③のみ

司会：谷野 圭亮(大阪府立大学工業高等専門学校)

- ③ M: 未来を切り拓く 18 歳を目指した英語教育構想  
-マルクス・バフチンの言語観の応用- 大野 駿 (滋賀大学)

ランチョン・セミナー 12:00 -13:00

【Zoom 1】

### 「教育現場で研究を続ける tips」

- 講師： 谷野 圭亮 先生(大阪府立大学工業高等専門学校)  
南 侑樹 先生(神戸市立工業高等専門学校)
- 進行： 山形 悟史 (関西大学第一高等学校・第一中学校)

午後の部 ④13:10-13:35 ⑤13:45-14:10 ⑥14:20-14:45

\*発表タイトル前の B は卒業論文、M は修士論文の発表です。

【Zoom 1】 コメンテーター：名部井 敏代(関西大学)・鳴海 智之(兵庫教育大学)

司会：俣野 知里(京都教育大付属桃山小学校)

- ④ B: EFL 学習者の声を求めて 杉原 颯太  
ーバフチンの声からの英語科教育再考ー (京都教育大学)
- ⑤ B: 他者意識を高める英語ライティング活動 田代 千紫季  
ーバフチンの宛名性を理論的基盤としてー (京都教育大学)
- ⑥ B: 日本の大学入試問題の分析 ー推論に焦点を当ててー 山川 右京  
(京都教育大学)

【Zoom 2】 コメンテーター：木村 修平(立命館大学)・高田 哲朗(京都外国語大学)

司会：齊藤 倫子(滋賀県立大学)

- ④ B: How to Improve the “Zest for Living” in the Japanese English Education Context: The Potential of the Flipped Classroom 武智 亮太  
(大阪教育大学)
- ⑤ B: An Examination of Japanese Pre-service English Teachers’ Attitudes towards the Diversity of English 下原 舞  
(奈良教育大学)
- ⑥ B: VR を用いた英語学習とスマートフォンアプリを用いた英語学習の比較研究 川澄 星礼那  
(千葉大学)

【Zoom 3】 コメンテーター：門田 修平(関西学院大学)・深田 将揮(神戸学院大学)

司会：谷野 圭亮(大阪府立大学工業高等専門学校)

- ④ B: 初等教育と中等教育の接続の課題 齊藤 雅  
ー英語教育に焦点を当ててー (関西国際大学)
- ⑤ B: 第一言語読解と第二言語読解の差異 林 寛人  
ー心的表象と読解ストラテジーに焦点を当ててー (京都教育大学)
- ⑥ B: 日本の高校英語教育における CLIL の可能性と課題 渡川 翔斗  
(京都教育大学)

## 事前参加登録のお願い

第 25 回卒論・修論研究発表セミナーはオンラインでの開催となります。ご参加いただくのに必要な Zoom の URL 等は事前参加登録をさせていただいた方にメールでお送りいたします。事前参加登録は関西英語教育学会 HP の第 25 回卒論・修論研究発表セミナーのページ ([http://www.keles.jp/news/keles25\\_thesis/](http://www.keles.jp/news/keles25_thesis/)) からお願いいたします。

## 発表者の皆さまへ

以下、発表者の皆さまに簡単な注意事項を記します。必ずお読みください。

- 発表時間 卒論 25 分(発表 15 分 コメント・質疑応答 10 分)  
修論 30 分(発表 20 分 コメント・質疑応答 10 分)
- 発表時間 10 分前には、発表が予定されている Zoom のミーティングルームに入って待機してください。
- 発表用の資料は、各自パワーポイント等でご準備ください。発表者を共同ホストとして設定しますので、時間になったら画面共有をして発表を開始してください。
- 発表と質疑の時間は厳守してください。当日は司会もいますが、各自タイマーをセットして、発表時間を管理してください。
- 発表前日までには、各自、発表の練習を必ず Zoom 上で行ってください。資料の共有の方法や、ネットワークの状態、マイクの音量等を確認して、ベストな発表状態で当日を迎えるようにしてください。
- 何らかの障害により発表がうまくできなかった場合のために、閉会行事終了後に予備の時間を設けています。

## 参加者の皆さまへ

- 必ず実名(フルネーム)でのご参加をお願いいたします。
- カメラとマイクは、基本的にはオフでのご参加をお願いします。
- 各発表のミーティングルームは、入退出自由ですので、興味のある発表のルームに入室して発表を視聴してください。
- 発表の録画・録音はもちろん、スクリーンショットやそれらに準ずることはご遠慮ください。
- 発表後、質疑応答の時間を設けていますが、適宜チャット機能を用いて質問をしていただければと思います。
- 発表順、コメンテーター等はやむを得ず変更されることがありますのでご了承下さい。最新情報は関西英語教育学会HPに掲載します。  
[http://www.keles.jp/news/keles25\\_thesis/](http://www.keles.jp/news/keles25_thesis/)